

お客様各位

株式会社 山喜農園
新潟県魚沼市原1280-1
TEL. 025-794-2455
FAX. 794-4168
E-mail: info@yamaki-noen.co.jp
HP Address. http://www.yamaki-noen.co.jp

球根情勢報告

平素よりお引き立ていただき誠にありがとうございます。

5月17日～25日までオランダに出張してまいりました。ご報告いたします。

13年産アイリス（抑制球）

30℃高温輸入、出港しました。出港前検品では、ロス率が高く、ご注文数を下回る輸入量となっています。

昨年の気象条件で出来た球根です。気を付けないと…。

14年産アイリス（促成球）

ごく一部の畑しか見ることが出来ませんでした。良い出来だと思います。

14年産チューリップ

冬も春もあたたかい。5月に入ってやや気温下がった。雨もそこそこありました。
月末になって再び気温が上昇してきています。

球根は太る！

花芽形成はまだコメントするに早いかもしれませんが、天候まわりからいけば、良くなるだろう、遅くはないだろうと思われまます。

13年産オランダ産百合球根

ここまでの所、ビックリするくらい事故（品質不良）が少ない。
もっとひどくなることを心配していました。

12月～2月下旬までに流通した球根については、

- 1) 芽の動きが遅い。
- 2) やや不揃い。
- 3) 輸付きは普通。

2月下旬～現在までに流通した球根については、

- 1) 芽の動きが遅い。
- 2) 揃いが良い。
- 3) 輸付きは平年比較でもものすごく良い。（イメージ的には1サイズ上の輸付き…。）

これらの動きから考えられるのは、

- 1) 休眠打破が遅れていた。
- 2) 青かび・リンパン・腐敗は、依然心配だが、凍害発生については、少なくとも6月中旬～下旬出庫作型までは少なくなるのではないかと？

7月以降出庫作型については、もう少し様子を見たいです。

*輸付きが良いのは不作のせい？

本来到達しなくてはいけないサイズまで球根が太りきれませんでした。しっかりとした根盤があり、リンパン数も確保されているので、芽伸ばしを少ししかしなくてよい作型では、輸付きが良くなります。

芽動きがゆっくりなのも、プラス材料と考えています。

凍害発生率が下がることを願っています。

何月出庫分まで輸付きを維持していけるか？まだ見極めは付きません。

14年産オランダ産百合球根

生産状況は2002～2006年以降では最も良くなるのではないのでしょうか？

最近では「平年より作が進んでいる」なんて話はあまり記憶にありません。

実際、北部の生産畑を数カ所定点観測的に確認してきましたが、昨年とは天と地の差でした。

昨年在平年比較で3～4週遅れていたとしたら、今年は1週間～10日間進んでいるように見えました。いや～久しぶりに良いスタートを切った様に見えます。

国際市場の認識は、14/15年産南半球産（14年産は作況良さそう！）は過剰感あり。（まだ数件の輸出業社の分析です。いつまでもつやら…。）

14年産オランダ産については1～3月中旬くらいまでは全然足りないという情報…。

14年産オランダ産の作況も良くなってほしいという思いは今も変わりません。

5月以降になってから、円/EUROの為替問題だけではなく、EURO/ドルでのEURO高の影響もあり、「やはり球根がちょっと高価すぎ？」という雰囲気も出てきています。

しかし…、

①1983年くらいから2002年まで、日本市場がオランダ産百合球根産業に与えてきた影響。

②1999年、2002年で、南半球産が免除になってから以降、今日にいたるまで、輸出側・輸入側が行ってきた失敗…失敗とは言い過ぎかもしれませんが…。(内容は書きません。直接お会いする機会があったら…話す機会があったら…話したほうが良ければ…お話しさせてください。)

③百合の育種が向かっている方向性。オランダ産百合球根産業の向っている方向性。(誰も問題に気が付けないうでいた。間抜けですね…。)

*すべてを勘案して、新しい一歩を踏み出さなければいけないのが14年産だと思います。(結果は5年後？10年後？)

過去の成功体験を捨てなければだめでしょう！

球根の、球根切花の原点に、帰らなければいけませんね！

多様化？お笑い草です。

ベースが壊れかけている事に気が付けられないでいるザマなのに…。

私自身が…一番反省しているのです。誰かを非難しているのではありません。

球根価格表第2版発行します。

第1版は、1EURO=¥142/¥144。今回は、¥141/¥144としました。

¥142以下が適応できればよいなあと考えています。

新潟/魚沼は、雪が消えてからずっと良い天候に恵まれています。最近は暑くて水不足が心配されるほどです。

県内の球根生産には追い風ですが、灌水には注意していただかなければいけません。

Plamv問題は、13年産はまだ心配されますが、14年以降は相当様子が変わってくるでしょう。(良い方向。)

為替状況によっては、輸入開花球より国産一作球の方が安い？という事すら考えています。（切花農家が自作球を生産する場合。）

夏期定植用品種の生産が激減している状況（回復の見込みは暫く無い？）ですので、もう一度国産球使用産地の方はエンジンかけ直してください。

育種会社/球根農家/輸出業社は、この事について全面協力体制です。（なにせ失敗に気が付いたのだから何とか穴埋めして、修正しなくてははいけませんからね！）

間違いに気が付いた人が増えてくれれば、時間がかかっても正しい方向に、新しい方向に、向かっていく事は可能でしょう。

1) そういう人が少し出てきたことはプラスです。

2) MAK社の先代社長/新営業担当に会って話をすることが出来ました。

会社のリストラに成功すれば（あくまでも成功すれば…）シハリアの栽培面積を15年産では、13年産の水準まで戻してくれるとの事でした。（14年産は13年産の25～35%しか生産されていません…。）

びっくりですが、シハリアオーナーグループ（3～6軒います。）は、シハリア球根安定供給の為に再出資検討を始めた様です。（フランスでの球根生産安定化？）

3) MAK社の営業担当だったアーリー・アルダース氏（45歳）の新しい就職先が決まった様です。

彼の活躍に期待しています。

4) 13年産は免除にならなかったフランス産…14年産免除ロット取得に向けて作業中の様です。

5) 育種発表後、25年以上経過したシハリア・ソルボンヌ、栄養繁殖で増殖/生産が繰り返される球根類は、古くなった品種については、分かれてきた傾向毎に商品を作らざるを得ないでしょう。

22年目から26年目にかけて「TYS 姉ブランカ」が出来ました。むしろそうしない方がおかしい。ほぼ全ての球根類がこれを実行しているのだから！

6) 当社試験栽培…昨年より5日間～1週間くらい早くなる見込み。

見に来てくださいね！できればワタダ人がいる時にも！（皆さんの声を届けたい。届けてほしい。）

今回は、4育種会社、3球根農家が来社予定です。6月28～29日に来る様ですから、ちょっと来るのが遅いと思います。

A.H/L.Aは、6月5～11日くらい。

O.Tは、6月15日～20日前後。

O.Hは、6月25日前後と思われます。

当社課長にご確認ください。私のスケジュール表に記載した開花予定日より5日間くらい前進している様です。

よろしくお願い致します。

以上
森山 隆



<http://www.lily-promotion.jp/>

私共はLPIJの趣旨に賛同し
協力・応援しています